

# 新事業創出のための環境整備のあり方

～多種多様なサービスが出現する環境の構築を目指して～

2011年4月26日

社団法人 テレコムサービス協会

# FMCを含むモバイルクラウドサービスの多様化に向けて

## ●NGNの閉塞感

- 今後ますます発展するクラウドサービスの基盤として大きく期待したが...
- 現状のサービスは限定的 → プラットフォーム構築のためのオープン化も不完全
- 現状はNTT東西だけのサービス → 競争環境がない!!

## ●NGN上に多種多様なサービスが出現する環境とは...

- 複数の通信キャリア間の競争と複数のプラットフォーム事業者の競争
- 旧二種電気通信事業者が先導してきたように、特定の業界向け、特定の企業向け、特定の地域向け、特定のコミュニティ向けに新たなサービスが出現
- さらに、ユーザ主導で新たなサービスを構築できる環境

## ●FMCの本格化が競争環境構築の大きなチャンス!?

- 今後の主戦場は、NGNなどの固定網からWiMAX/LTEの次世代移動網へ → LTEは3事業者が参入を表明 (2012年頃?)
- FMCサービスが本格化 → それに伴い、プラットフォームレイヤを開放し、多くの事業者による競争環境を実現!!
- 大規模事業者ではなく、ユーザ視点を持ち、小回りが利き、地域に密着した事業者がサービス競争をリードすべき

## ●プラットフォーム構築のためのインタフェースの共通化と差異化

- FMCサービス提供のためには、固定網および移動網をカバーするプラットフォーム構築が必要
- その際の通信レイヤの上位インタフェースは、共通化が望ましいのか? 事業者ごとに差異化されるのか?
- FMCを含むモバイルクラウドサービスの多様化に向けて、プラットフォームレイヤに関する議論が必要



# 通信ネットワーク市場の構造変化

## ●インフラから上位レイヤへ

- 提供する価値の中心、収益の源泉は上位レイヤへ
- クラウド： 通信サービスからアプリケーションサービスへ

## ●固定通信から移動通信へ

- 移動通信高速化 (WiMAX、LTE) とスマートフォン
- FMCの本格化

## ●サプライヤ主導からユーザ主導へ

- ユーザ主導による市場の形成
- ソーシャルネットワークとCGM

FMC: Fixed Mobile Convergence  
CGM: Consumer Generated Media



# 現状のNGNをどう評価するか？

## ● 商用サービスはNTT東西のみ

→ 通信キャリア間の競争を期待したが、他社は参入せず

## ● 電話網の代替としてのネットワーク

→ ハイビジョンクラスのTV電話などのサービスは評価できる

→ 従来の電話網と同レベルの信頼性も評価できるだろう

## ● コンシューマ向けのサービスが中心

→ VPNなどのデータ通信系の新サービスが不十分

(2010年6月から開始された「データコネクト」サービスも、最大1MbpsとNGNの広帯域性を活かしていない)

## ● クラウドサービスのインフラとしての利用

→ 「SNI」のサービスバリエーションは増えず

(光ソフトタウンなどNTT東西の新たなサービスが始まるも、実質的にサードパーティが参入できる環境にない)

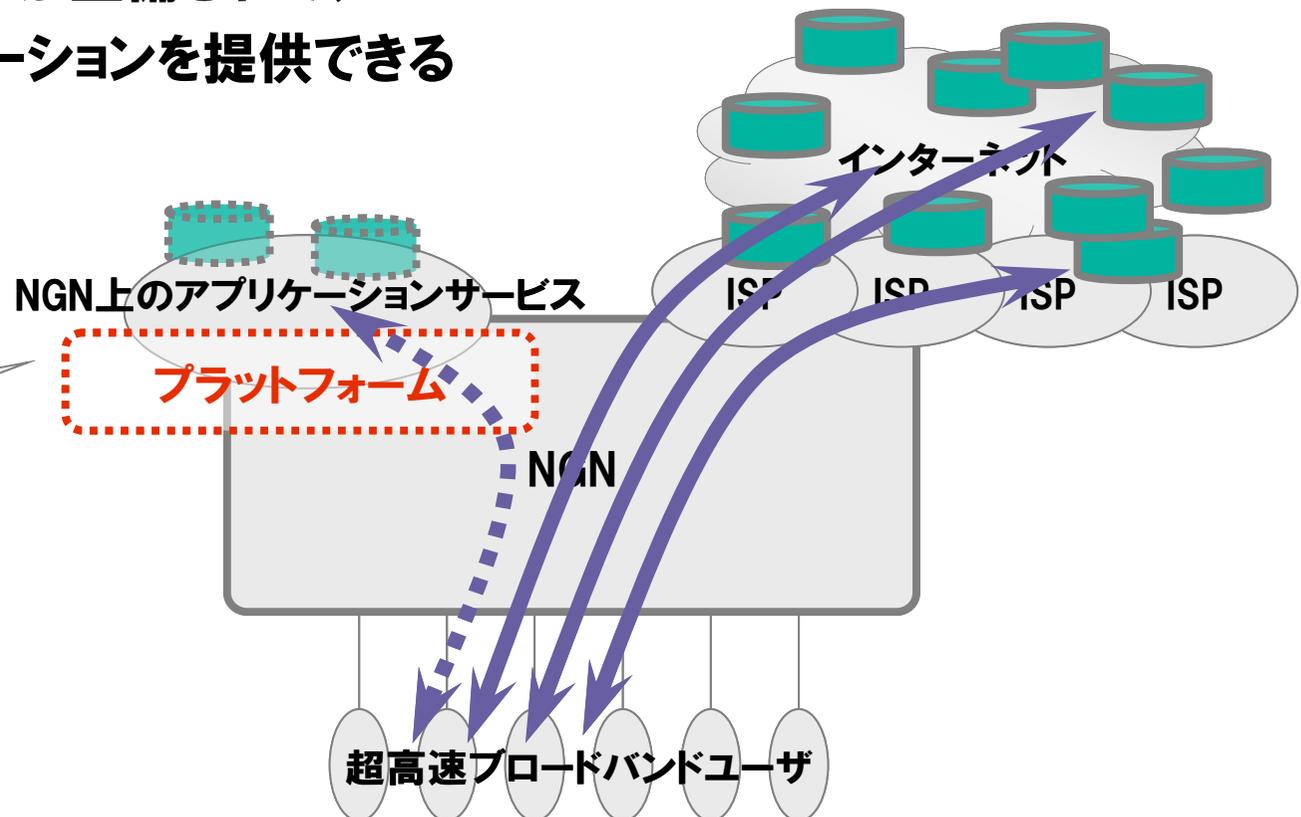
# 本来、NGNに期待したことは・・・

- インターネット上で展開されるサービスだけではなく・・・
- より広帯域、より安心・安全で、誰でも簡単に使える様々なサービスの出現

そのためには、

- NGNの上位インタフェースがオープン化され、
- サービスプラットフォームが整備されて、
- 誰もが簡単にアプリケーションを提供できる

ような環境が必要



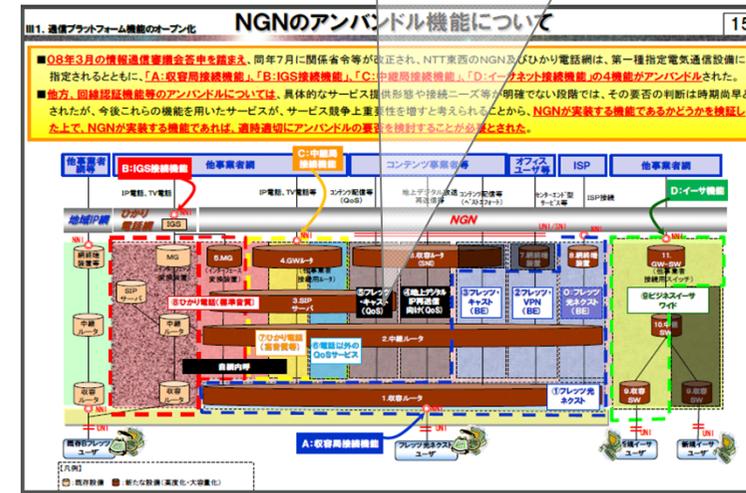
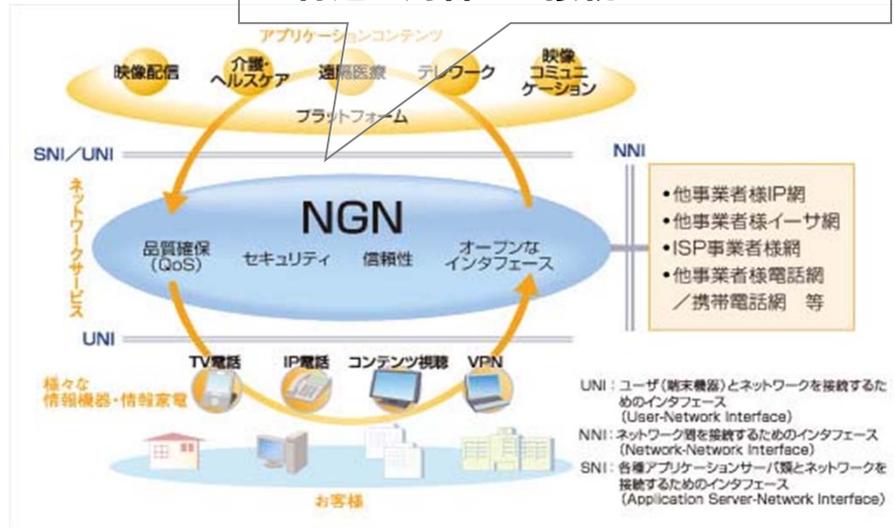
- ・アプリケーションのためのインタフェース「SNI」は「フレッツキャスト」用の1種類しか提供されていない。
- ・しかも、高額（月80万円～）、かつNTT局舎内の接続のみのため、簡単には参入できる状況にない。

# NGNを取り巻くオープン化の現状

- NGN上にプラットフォームを構築するためのインタフェースに期待したが・・・
- 現状では限定的なサービスメニューのみ

- ・ フレッツ・キャスト、ひかり電話ナンバーゲートなどの映像系サービス
- ・ 特定の局舎での接続のみ

- ・ 認証、QoS等のNGNの機能をアンバンドリングで開放すべき、との要求あり
- ・ 現状では収容ルータ/中継ルータでの接続は開放されず



NTT東日本のWebページより  
<http://www.ntt-east.co.jp/ngn/about/index.html>

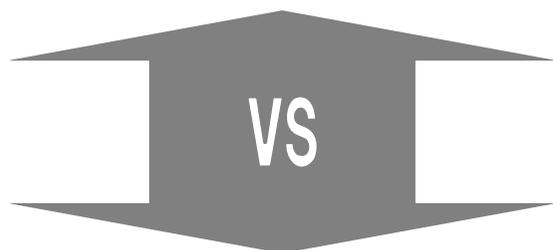
総務省資料 ( 通信プラットフォーム市場・コンテンツ配信市場への  
 参入促進のための公正競争環境の整備等について) より  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019500.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019500.pdf)

➔ 「オープン」 (= 公平?) かもしれないが、NGN上で自由なアプリケーションを構築できるような環境にはない

# 現状の閉塞感とアキラメ・・・

- 網に大きな影響がなく、公開可能なインタフェースは、すべて公開
- 実際に使われるかどうかわからなくても、いろんな使い方を考える人が現れる
- とにかく、多くの人が集まってくるのが重要!!

まず、オープン化を!



ニーズのあるところから・・・

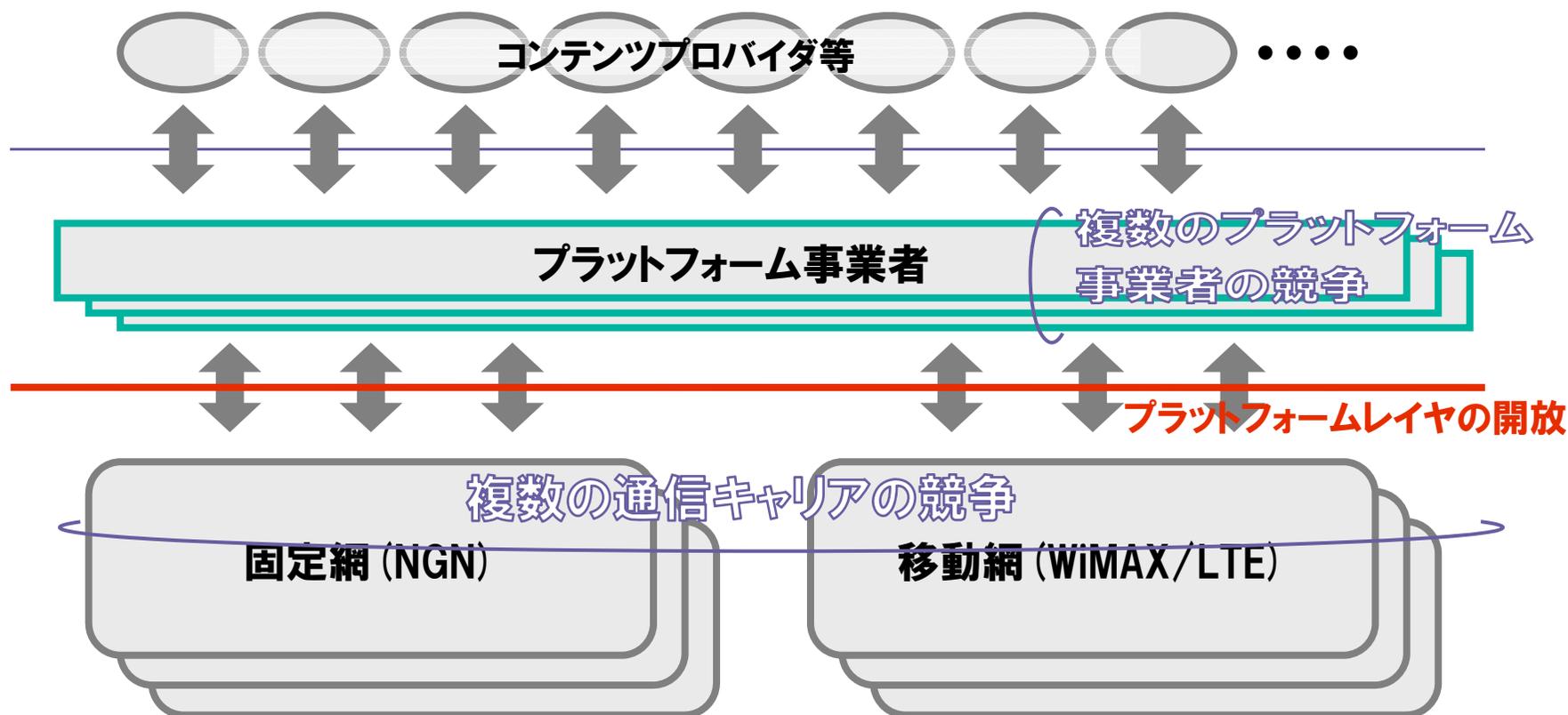
- インタフェース仕様はすべて公開し、特定の人だけが使えるインタフェースはない
- インタフェースの公開にはコストがかかる
- 現状でもオープンである・・・

競争環境になく、これ以上議論が進まない・・・

LTEに期待!?

# 次のチャンスは、LTE登場による『FMC』

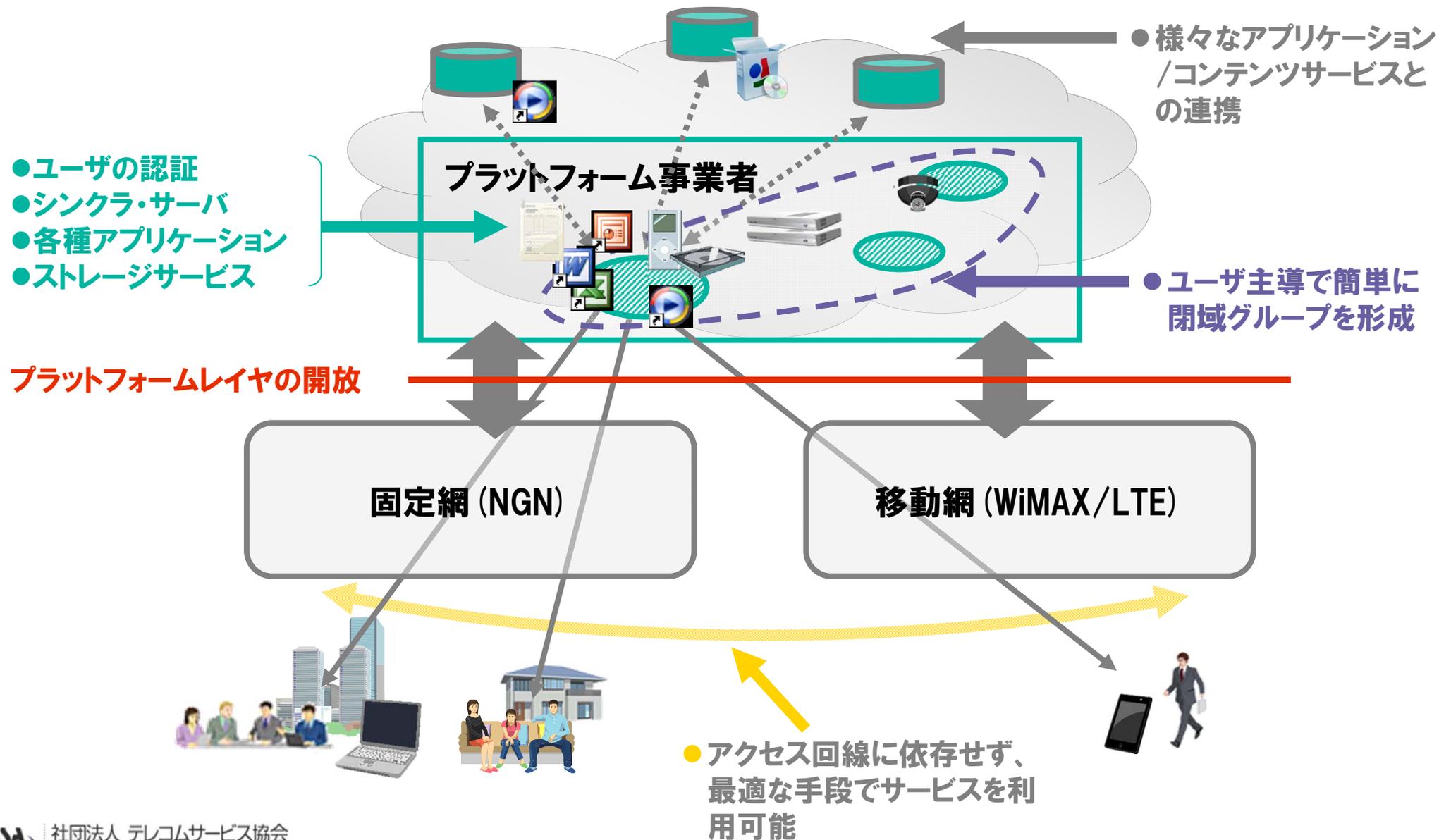
- FMC実現には、固定網/移動網を包括するプラットフォームの構築がカギ
- 複数の通信キャリア、複数のプラットフォーム事業者による競争環境を実現



➔ プラットフォームレイヤを開放し、多くのプレイヤーによる健全な競争環境の構築を目指すべき

# 例えば、ユーザ主導のモバイルクラウドサービス

## ●FMCを実現するプラットフォーム事業者のクラウドサービス



# 多種多様なサービスが出現する環境の構築へ

## ●新規事業創出のための環境整備

- ネットワークを活用したサービスを、誰でも簡単に提供できる環境が必要
- LTE等の新たなネットワークの構築で、適切な競争環境の出現を期待

## ●プラットフォームレイヤの開放とインタフェースの標準化

- 複数の通信キャリアによるネットワークサービスの競争
- プラットフォームレイヤの開放による複数のプラットフォーム事業者の競争
- 適正な競争の促進のためには、インタフェースの標準化が重要

➡ 強制力を持ってプラットフォームレイヤの開放とインタフェースの標準化を推進すべき

➡ 世界に誇れる優れたICT環境を構築することで豊かな国民生活を実現し、さらに世界へ貢献!!